

- 問1 ブラジルでは、さとうきびを原料としたバイオエタノール（バイオ燃料）が自動車用燃料として広く普及しています。この燃料が、化石燃料と比べて地球温暖化の防止に役立つとされる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 原料となる植物が成長過程で光合成を行い、大気中の二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても全体での排出量が増えないとされるから | 2. 地下から採掘する資源ではないため、燃焼時に発生する有害なガスの量が化石燃料の半分以下に抑えられるから | 3. さとうきびから作られるアルコールには、大気中の二酸化炭素を分解して酸素に変える特殊な成分が含まれているから | 4. 燃焼させた際に二酸化炭素を全く排出せず、水蒸気のみを排出するクリーンなエネルギーであるから |
|---|---|--|--|
- 問2 主に南半球に位置する大陸で、その西側には標高4000メートルを超える険しいアンデス山脈が南北に走り、東側には広大な平原が広がっているという地形的特徴を持つ大陸はどこですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 南アメリカ大陸 | 2. 北アメリカ大陸 | 3. アフリカ大陸 | 4. ユーラシア大陸 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問3 オーストラリアにおける入国者の出身国別統計の変化について、1996年には上位3か国がニュージーランド、イギリス、中国であったのに対し、2016年にはインド、中国、イギリスの順へと変化しています。この統計から読み取れる、近年のオーストラリアの移民構成に関する傾向として最も適切なものはどれですか。（2022年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. ブラジルなどの南米系移民が、労働力不足を補う最大の集団となっている。 | 2. インドや中国など、アジア系移民の流入が顕著になっている。 | 3. 白豪主義の影響が強まり、ヨーロッパ系移民の割合が急増している。 | 4. イギリスからの入国者数が、他のどの国よりも大幅に増加している。 |
|---------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問4 世界の諸地域における人口と環境問題について述べた文のうち、南アメリカ州の統計的特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 人口は4億人を突破して急増しているが、森林保護の徹底により二酸化炭素排出量はほぼゼロである。 | 2. 人口は横ばいだが、急速な工業化によって一人あたりの二酸化炭素排出量が北アメリカ州を超えている。 | 3. 人口が3億人から4億人へと増加する傾向にあり、一人あたりの二酸化炭素排出量は1トンを下回る水準である。 | 4. 人口が減少に転じたため、それに伴って一人あたりの二酸化炭素排出量も1995年より減少している。 |
|---|--|--|--|
- 問5 オセアニア地域に位置し、イギリスからの移民を中心に国づくりが進められた歴史を持つニュージーランドにおいて、現在尊重されている先住民とその文化政策の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|---------------|-------------|--------------|
| 1. アボリジニと多文化主義 | 2. アボリジニと同化政策 | 3. マオリと白豪主義 | 4. マオリと多文化主義 |
|----------------|---------------|-------------|--------------|
- 問6 面積が約851万平方キロメートルで、大豆や鉄鉱石を主要な輸出品目とするブラジルの産業的背景について述べた文として、適切なものはどれですか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. アメリカ合衆国との経済的結びつきが非常に強く、北米自由貿易協定（NAFTA）を基盤とした自動車や原油の輸出が産業の大部分を占めている。 | 2. 寒冷な気候に適した小麦の生産や、広大な針葉樹林から得られる木材・パルプの輸出が、人口約2億1千万人の暮らしを支える主要な財源となっている。 | 3. 広大な土地を活用した大規模な大豆栽培や、豊富な地下資源を背景とした鉄鉱石の採掘を行い、世界の食料や資源の供給地としての役割を果たしている。 | 4. 熱帯の気候条件のみに依存したコーヒーのモノカルチャー経済から、近年はハイテク産業や石油製品の輸出に完全に特化した経済構造へ移行した。 |
|--|--|--|---|
- 問7 オセアニア州に位置するニュージーランドにおいて、ヨーロッパの人々が入植する以前からこの地に居住し、現在も独自の言語や「ハカ」などの伝統文化を継承している先住民族を何と呼びますか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| 1. マオリ | 2. イヌイット | 3. ヒスパニック | 4. アボリジニ |
|--------|----------|-----------|----------|
- 問8 南アメリカのアンデス山脈に見られる伝統的な民族衣装「ポンチョ」について、この衣服が主に「毛織物」で作られ、かつ袖のない形状をしている理由として、地域の自然環境や生活の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 熱帯の低地において、通気性を高めて湿気を逃がしやすくし、害虫から身を守るため。 | 2. 多雨な温帯地域において、雨に濡れてもすぐに乾くよう、植物の繊維を薄く編み込む必要があるため。 | 3. 広大な乾燥地帯において、砂風が衣服の中に入るのを防ぎ、直射日光を遮るため。 | 4. 標高が高く涼やかな気候であり、家畜として飼育しているリャマやアルパカの毛が容易に入手できるため。 |
|--|---|--|---|
- 問9 オーストラリア大陸に位置し、世界遺産にも登録されている「ウルル（エアーズロック）」と、その周辺地域の歴史的・文化的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. ヨーロッパからの移民が大陸開拓の拠点として建設した城塞であり、現在はオーストラリアの歴史を伝える博物館となっている。 | 2. 乾燥帯の厳しい環境に適応した先住民が、地下に居住空間を作るために掘り進めた巨大な洞窟群である。 | 3. 先住民であるマオリが自然崇拜の対象として守ってきた場所であり、現在はニュージーランド最大の観光地となっている。 | 4. 先住民であるアボリジニが聖地として大切にしてきた場所であり、現在はその文化的価値も認められ、世界遺産に登録されている。 |
|---|--|--|--|
- 問10 ブラジルでは広大な国土を活かした農業が盛んですが、近年の環境問題やエネルギー政策とも深く関わる特徴が見られます。サトウキビの生産に関連して、ブラジルで行われている取り組みとして正しいものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. サトウキビ畑をすべて大豆の栽培に切り替えることで、世界的な食料不足に対応する食料安全保障政策を推進している。 | 2. サトウキビを原料としたプラスチックの製造を禁止し、伝統的な木材加工業を輸出の中心に据える政策に転換した。 | 3. サトウキビを原料としてバイオエタノールを製造し、自動車の燃料として普及させることで、二酸化炭素の排出抑制を図っている。 | 4. サトウキビの絞りかすを家畜の飼料として輸出することに特化し、大豆に代わる世界最大のタンパク質供給源となっている。 |
|---|---|--|---|
- 問11 日本からブラジルへの移民が本格化した歴史的背景と、現地での活動について述べた文として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 明治維新による急速な近代化で人手不足が生じたため、政府はブラジルへの渡航を厳しく制限したが、一部の商人がさとうきび栽培のために密入国した。 | 2. 南米での鉄道建設に必要な労働力を確保するため、日本政府が技術者を派遣し、建設終了後にその地でとうもろこし栽培を定着させた。 | 3. 国内の農村における人口過剰や貧困を解決するため、政府の奨励により移住が進み、現地のコーヒー農園などで主要な労働力となった。 | 4. 第2次世界大戦中の食糧不足を解消する目的で、大規模な大豆栽培を行う専門家集団がブラジル政府の要請により国策として派遣された。 |
|--|--|--|---|